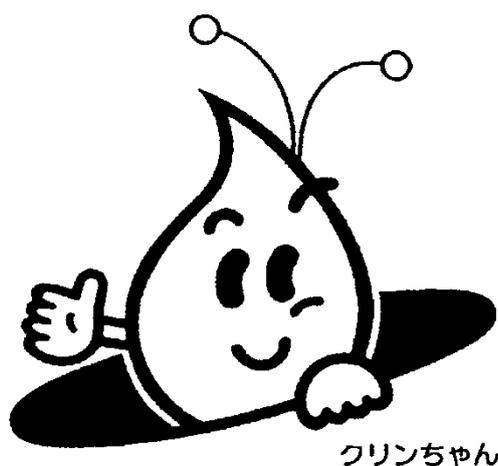


平成28年度

下水道用資器材製造工場検査要領



札幌市下水道河川局



# 下水道用資器材製造工場検査要領

## 1. 適用

この要領は、「下水道用資器材製品製作及び検査仕様書」（以下「仕様書」という。）第7章に基づいて札幌市が行う下水道用資器材製造工場の検査方法について、その内容を定めるものである。

## 2. 適用範囲

### (1) 検査対象資器材

- ① 札幌市型ブロック類
- ② 札幌市型柵類
- ③ 札幌市型鋳鉄製鉄蓋類（平受け型）
- ④ 資器材を新規に製造した場合、または、既存の形式を変更し資材検査担当者が必要と認める場合は検査を行うこととする。

### (2) 検査対象工場

上記資器材を製造・販売する製造工場（製造会社）で、工場検査依頼書を札幌市に提出し、札幌市が受理した工場。

## 3. 工場検査申請

### (1) 製造工場からの申請書類

- ① 工場検査依頼書（別紙様式2）
- ② 工場・設備概要書（別紙様式3）
- ③ 製造工程図（別紙様式4）
- ④ 工場組織図（別紙様式5）
- ⑤ 製品製作図（自主作成）

なお、様式2「工場検査依頼書」に記載する製品名は、表-1 資器材名欄に記載されているものとする。

- (2) 札幌市は、上記依頼書を受理したのち、製造工場に対して工場検査を実施する日時等を通知する。

#### 4. 検査項目

(1) 書類審査

上記依頼書に係る申請書類の審査を行う。

(2) 工場検査

工場検査時に上記書類の確認検査を行う。また、表－1の検査項目に基づき、製品・型枠・原材料・自主検査書等の検査及び審査を行う。

#### 5. 検査時期等

工場検査依頼書の提出に基づき、検査頻度を隔年毎とし、年度当初に行うこととする（新規申請のものを除く）。ただし、札幌市が必要と判断した場合は回数を増やすことができる。

また、年度途中で工場検査依頼書の提出があった場合には、状況に応じて行うこととする。

#### 6. 資器材検査担当者

札幌市下水道河川局担当職員とする。

#### 7. 製造工場検査済書及び製品検査合格書の発行

検査及び審査の結果、資器材製造工場として適正と判断した工場には「製造工場検査済書」（様式1－1）を発行する。

また、工場検査と同時にを行う製品検査に合格した製品に対しては「製品検査合格書」（様式1－2）を併せて発行する。

「製造工場検査済書」の有効期限は2年間とする。また「製品検査合格書」は仕様書に定める本数又は組数に対してのみ有効とする。

#### 8. 検査後の取扱いについて

(1) 「製造工場検査済書」の発行を受けた製造工場は、仕様書に定める数量または期間毎に自主検査を行い、検査結果を札幌市に報告すると共に保管する。

(2) 請負業者（開発行為も含む）へ納入する場合には、「製造工場検査済書」と「自主検査書」を提出すること。

ただし、「製品検査合格書」の有効数量内においては「自主検査書」に代えて、「製品検査合格書」を添付することとする。

#### 9. 製造工場検査済簿の作成及び保管

検査担当課が行った製造工場検査の結果については、検査担当課で「製造工場検査済簿」を作成し、保管する。

**表一 1 検 査 項 目**

資 器 材 名		検 査 項 目	検 査 様 式
1	ブロック類 ○直立管（Ⅱ・Ⅲ号）○継足管（マンホールホップ）	(1) 外観・形状・寸法検査	検査様式 1 - 1
		(2) 強度・型枠・配筋検査	検査様式 1 - 2
		(3) 使用材料検査書審査（桝含）	検査様式 1 - 3
		(4) 自主検査書審査（桝含）	検査様式 1 - 4
2	桝類 ○汚水桝（Ⅰ・Ⅱ号） ○特殊汚水桝 ○宅地雨水桝（孔有・無） ○継足管（汚水・雨水） ○汚水桝用増強蓋 ○溜桝（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ号）	(1) 外観・形状・寸法検査	検査様式 2 - 1
		(2) 強度検査	検査様式 2 - 2
		(3) 型枠・配筋検査	検査様式 2 - 3
		(4) 使用材料検査書審査	検査様式 1 - 3
		(5) 自主検査書審査	検査様式 1 - 4
3	鉄蓋類 ○化粧用鉄蓋（マンホール・汚水桝） ○塩ビ桝用鉄蓋	(1) 外観・形状・寸法検査	検査様式 3 - 1
		(2) 強度検査	検査様式 3 - 2
		(3) 材質検査	検査様式 3 - 3
		(4) 使用材料検査書審査	検査様式 3 - 4
		(5) 自主検査書審査	検査様式 3 - 5

※ 1 下水道用資器材製造工場検査依頼書の製品名には、○印の製品名を記載する。

(平成 年度)  
下水道用資器材製造工場検査済書

札下 第 号  
平成 年 月 日

様

札幌市長

札幌市下水道用資器材製品製作及び検査仕様書に基づく検査の結果、  
札幌市下水道用資器材の製造工場として、下記内容のとおり認めます。

記

1 製造工場名

所在地

2 製品名

3 検査日 平成 年 月 日

4 有効期限 平成 年 3月31日まで

# 下水道用資器材製品検査合格証

札下 第 号  
平成 年 月 日

様

札幌市長

平成 年 月 日付で申請のあった製造工場検査依頼書に基づき実施した検査のうち、製品検査にかかる結果は、下記のとおり合格しましたので通知致します。

## 記

1 検査材料名及び規格

2 検査項目

3 検査日及び検査場所

検査日 平成 年 月 日 [第 回目 ( 組分)]  
検査場所

4 検査結果

札幌市下水道用資器材製品製作及び検査仕様書に基づく検査の結果、

と認める。

(平成 年度)  
下水道用資器材製造工場検査依頼書

札幌市長

様

会社名  
代表者名  
所在地

TEL

担当部課名  
担当者名

札幌市下水道用資器材製品製作及び検査仕様書に基づき、下記工場の工場検査を受けたく、添付書類を添えて依頼いたします。

記

1 製造工場名

所在地

2 製品名

## 工場・設備概要書

(平成 年 月 日現在)

申請会社名				代表者名				
申請工場名				工場長名				
申請 工場	操業年月日				敷地面積		m <sup>2</sup>	
	敷地面積		1. 材料置場	m <sup>2</sup>	4. 製品置場	m <sup>2</sup>	7. その他	m <sup>2</sup>
	内 訳		2. 製造工場	m <sup>2</sup>	5. 事務室	m <sup>2</sup>		
			3. 倉庫	m <sup>2</sup>	6. 試験研究室	m <sup>2</sup>	計	m <sup>2</sup>
	J I S 標 示 許 可	番 号	第 号		J S W A S 標 示 許 可	認定番号	第 号	
		許可日付	年 月 日			認定日付	年 月 日	
		種 目				範 囲		
	職 員	技術職員 人		事務職員 人				
		その他 人		計 人				
	製 造 設 備	①骨材の調整設備		有・無		①骨材及び鉄筋試験設備		有・無
②材料の貯蔵・計量・混合設備		有・無		②コンクリート試験設備		有・無		
③鉄筋の編成設備		有・無		③外観・形状及び寸法の検査に係る設備及び器具		有・無		
④型枠の組立及び成形設備		有・無		④軸方向耐圧力試験設備		有・無		
⑤養生及び運搬設備		有・無		⑤水密性試験設備		有・無		
⑥その他附帯設備				⑥その他附帯設備				
申 請 会 社	創立年月日		年 月 日		資 本 金		円	
	その他の工場		JSWAS 認定番号	認定適用資器材名		JIS 標示許可番号・日付		
	加入製造者団体							

## 工場・設備概要書

(平成 年 月 日現在)

申請会社名				代表者名				
申請工場名				工場長名				
申請 工場	操業年月日				敷地面積		m <sup>2</sup>	
	敷地面積 内 訳		1. 材料置場 2. 製造工場 3. 倉庫	m <sup>2</sup> m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>	4. 製品置場 5. 事務室 6. 試験研究室	m <sup>2</sup> m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>	7. その他 計	m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>
	J I S 標 示 許 可	番 号	第 号		J S W A S 標 示 許 可	認定番号	第 号	
		許可日付	年 月 日			認定日付	年 月 日	
		種 目				範 囲		
	職 員	技術職員 人		事務職員 人				
		その他 人		計 人				
	製 造 設 備	①溶解設備		有・無		①成分分析試験設備		有・無
		②鑄造設備		有・無		②外観・形状及び寸法の検査に係る設備及び器具		有・無
		③加工設備		有・無		③引張試験設備		有・無
④塗装設備		有・無		④硬さ試験設備		有・無		
⑤養生及び運搬設備		有・無		⑤黒鉛球状化試験設備		有・無		
⑥その他附帯設備				⑥構造・機能の検査に係る設備及び器具		有・無		
				⑦荷重試験設備		有・無		
申 請 会 社	創立年月日		年 月 日		資 本 金		円	
	その他の工場		JSWAS 認定番号		認定適用資器材名		JIS 標示許可番号・日付	
	加入製造者団体							

(様式 4 - 1)

# 製 造 工 程 図

申請工場名： \_\_\_\_\_

(平成 年 月 日現在)

製造工程管理表

別表のとおり

注： 1. 各工程（材料の受入れを含む）には，工程番号を付して下さい。  
2. 各工程の管理項目等については，製造工程管理表に記入して下さい。





(様式 - 1)

## 下水道用資器材使用届

平成 年 月 日

札幌市長 様

請負者  
住 所  
氏 名  
印

工事名 \_\_\_\_\_ 下水道新設工事

上記工事については、下記の器材を使用したい。

名 称	規 格	数 量	製造会社工場名	下水道用器材製造工場 (下水道協会) 製造工場検査済書 (札幌市)	認定番号 発刊番号

下水道用資器材  
製造工場検査書

札幌市型ブロック類

直立管（Ⅱ号・Ⅲ号）

継足管（マンホールポンプ所用）

平成 年 月 日

工場名

---

札幌市下水道河川局



# 外観・形状・寸法検査

直立管・継足管 (単位: mm)

会社名 \_\_\_\_\_

部材名	成形年月日	検 査 結 果							
直立管  <input type="checkbox"/> ・号型 <input type="checkbox"/> ・号型	年 月 日	外 観	適 ・ 否						
		形 状	適 ・ 否						
		寸 法	筒 所	規格値		許容差	実測値		判 定
				Ⅱ号型	Ⅲ号型		①	②	
			d	1500	1800	±8			適・否
			l	2000	2000	+10 -5			
t	150	150	+8 -3						
吊フック数量	3箇所	4箇所							
継 足 管 マンホール ポンプ所用  <input type="checkbox"/> 900 型 <input type="checkbox"/> 1200 型  <input type="checkbox"/> H=200 <input type="checkbox"/> H=300 <input type="checkbox"/> H=500	年 月 日	外 観	適 ・ 否						
		形 状	適 ・ 否						
		寸 法	筒 所	規格値		許容差	実測値		判 定
				900 型	1200 型		①	②	
			D	900	—	±4			適・否
				—	1200	±6			
T	140		—	+4 -2					
	—	190	+6 -3						
a	900		+5 -0						
H			+10 -5						

# 強度検査

会社名 \_\_\_\_\_

コンクリートの圧縮強度試験

	単位	供試体 1	供試体 2	供試体 3
成形年月日		平成 年 月 日		
試験年月日		平成 年 月 日		
材 令 日				
破壊荷重	KN			
平均	KN			
圧縮強度	N/mm <sup>2</sup>			
平均	N/mm <sup>2</sup>			
出荷時強度	N/mm <sup>2</sup>	25 以上		
判定		合 ・ 否		

# 型 枠 検 査

直立管・継足管

検査材料		外観・形状					組立 寸法	総合 判定	摘 要
		清掃	傷・磨耗	変形	締付金具	型枠の 合せ目			
直立管	Ⅱ号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
	Ⅲ号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
継足管(マンホール <sup>レ</sup> ソ <sup>ク</sup> 所用)		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	

 注 1 清掃については、製品の<sup>レ</sup>外観に影響を与える場合は<sup>レ</sup>否とする。

 2 傷・磨耗については、製品の<sup>レ</sup>外観に影響を与える大きさ、又は著しく多い場合は<sup>レ</sup>否とする。

 3 変形については、製品の<sup>レ</sup>外観や寸法に影響を与える場合は<sup>レ</sup>否とする。

 4 締付金具については、専用の物を使用していない場合は<sup>レ</sup>否とする。

 5 型枠の合せ目については、製品の<sup>レ</sup>外観に影響を与える場合は<sup>レ</sup>否とする。

6 組立寸法については、測定可能な部分で寸法検査する。

7 製品検査で異常がない場合は省略できる。

# 配 筋 検 査

直立管・継足管

検査材料		配筋図及び配筋状況				清掃・錆 及び損傷	総合判定
		本数	ピッチ	鉄筋径	鉄筋ぶり		
直立管	Ⅱ号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	Ⅲ号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
継足管(マンホール <sup>レ</sup> ソ <sup>ク</sup> 所用)		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否

 注 1 ピッチについては、鉄筋の重ね継手を考慮して鉄筋間隔±鉄筋径以内とし、これを超える場合を<sup>レ</sup>否とする。

 2 清掃は鉄筋の表面についた、どろ、油、ペンキ、その他鉄筋とコンクリートの付着を害する恐れのあるものが見られた場合を<sup>レ</sup>否とする。

 3 錆については、浮き錆があるものを<sup>レ</sup>否とする。

 4 損傷については、構造上、害を及ぼすような断面欠損等がある場合を<sup>レ</sup>否とする。

## 使用原材料検査書審査

直立管・柵類用

会社名 \_\_\_\_\_

材 料	規 格	検査書 ・ 成績表	判 定	適 用
セメント	<input type="checkbox"/> JIS R 5210 ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> JIS R 5211 高炉セメント <input type="checkbox"/> JIS R 5212 シリセメント <input type="checkbox"/> JIS R 5213 フライッシュセメント <input type="checkbox"/> その他	有・無	適・否	
骨 材	細骨材 産地： 粗骨材 産地：	有・無	適・否	
鉄 筋	<input type="checkbox"/> JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼 <input type="checkbox"/> JIS G 3532 鉄線に規定する普通鉄線及びなまし鉄線 <input type="checkbox"/> JIS G 3521 硬鋼線 <input type="checkbox"/> その他	有・無	適・否	
混 和 剤	<input type="checkbox"/> JIS A 6201 フライッシュ <input type="checkbox"/> JIS A 6202 コンクリート用膨張剤 <input type="checkbox"/> JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤 <input type="checkbox"/> JIS A 6205 鉄筋コンクリート用防せい剤 <input type="checkbox"/> その他	有・無	適・否	
吊りフック	<input type="checkbox"/> φ 6mm SR235 <input type="checkbox"/> φ 16mm SR235	有・無	適・否	
足掛金物	足掛金物 JIS G 4303 (ステンレス棒鋼) SUS403 - φ19M18 ナット・平座金 SUS 304 防錆被覆加工 ポリプロピレン (MK-3D) すべり止めは両面加工とする。	有・無	適・否	
柵 蓋 用 鋼板・取手	鋼板 JIS G 3101 SS41 3.2mm (JIS K 5664 タール・エポキ樹脂塗装) 取手 φ 9mm(錆止め塗布)	有・無	適・否	
溜 柵 用 鋼板・塵芥金物	鋼板 JIS G 3101 SS41 3.2mm (JIS K 5664 タール・エポキ樹脂塗装) 金物 φ 9mm(錆止め塗布)	有・無	適・否	

## 自主検査書審査

直立管・柵類用

会社名 \_\_\_\_\_

検査材料		製造数	外観・形状検査 (全数)		寸法検査 (1回/月)		判定	適用
			検査数	不合格数	検査回数	不合格数		
直立管	Ⅱ号						適・否	
	Ⅲ号							
汚水柵	Ⅰ号						適・否	
	Ⅱ号							
	特殊							
溜柵	Ⅰ号						適・否	
	Ⅱ号							
	Ⅲ号							
宅地雨水柵	穴有り						適・否	
	穴無し							
柵用部材	汚水柵用	蓋φ480					適・否	
		蓋φ390						
		増強蓋φ80						
		増強蓋φ90						
		継足100						
		継足150						
		継足200						
		継足250						
	継足300							
	宅地雨水柵用	蓋						
		継足100						
		継足150						
		継足200						
		継足250						
		継足300						
継足300								

試験項目	試験回数	判定	適用	試験項目	試験回数	判定	適用
圧縮強度		適・否	1回/月	透水試験		適・否	1回/月

※ 自主検査書審査は、前年度分を原則とし、当年度分があれば含むこととする。

下水道用資器材  
製造工場検査書

柵 類

汚水柵（Ⅰ型・Ⅱ型・特殊）

宅地雨水柵（穴有り・穴無し）

継足管（各種）

汚水柵用増強蓋

溜柵（Ⅰ号・Ⅱ号・Ⅲ号）

平成 年 月 日

工場名 \_\_\_\_\_

札幌市下水道河川局



## 外観・形状・寸法検査

樹 類 (単位 : mm)

会社名 \_\_\_\_\_

部材名	成形年月日	検 査 結 果								
		外 観	適 ・ 否							
		形 状	適 ・ 否							
		箇 所	規 格 値		許 容 差	実 測 値		判 定		
			I 号	II 号		①	②			
汚水桝 □ I 号 □ II 号	年 月 日	寸 法	蓋	b	390		±3			適 ・ 否
				a 6	220		—			
				a 7	130		—			
				a 10	60		+2 -1			
				b 1	40		±3			
			上 部	c	40		±5			
				p	60		—			
				q	80		—			
				r	220		—			
				b 2	40		—			
				a 11	30		—			
				a 13	100		—			
			胴 部	h	250	140	—			
				I	220	120	—			
				j	400		±5			
				k	40		±3			
				m	600		±5			
				s	580		±5			
				a 1	210	120	—			
			a 2	225	140	—				
			底 部	t	30	40	+5 -3			
				u	45	35	—			
				u+v	120	80	—			
e	480			—						
g	45			±3						
x	25	7		—						
a 3	192	180		—						
a 5	150	100	—							

## 外観・形状・寸法検査

桷 類 (単位: mm)

会社名 \_\_\_\_\_

部材名	成形年月日	検査結果								
溜 桷 □ I号	年 月 日	外 観	適 ・ 否					判 定		
		形 状	適 ・ 否							
		寸 法	箇 所	規格値	許容差	実測値			適 ・ 否	
						①	②			
			a	600	—					
			b	470	±3					
			c	230	—					
			d	60	+5 -3					
			h	520	—					
			i	400	±5					
			j	60	+5 -3					
			k	390	—					
			n	500	±5					
			q	60	+5 -3					
			t	560	±8					
			u	460	—					
			w	60	+5 -3					
			y	40	—					
			z	115	—					
			a <sub>1</sub>	290	±10					
a <sub>3</sub>	60	±5								
a <sub>10</sub>	100	—								
a <sub>13</sub>	60	+2 -1								
溜 桷 □ II号 □ III号 (底部)	年 月 日	外 観	適 ・ 否					判 定		
		形 状	適 ・ 否							
		寸 法	箇 所	規格値		許容差	実測値		適 ・ 否	
				II号	III号		①			②
			i	400		—				
			j	60		+5 -3				
			t	560		±8				
			u	460		—				
			w	60		+5 -3				
			z	135	185	—				
a <sub>1</sub>	250	150	±10							
a <sub>3</sub>	100	150	±5							

# 外観・形状・寸法検査

柵 類 (単位 : mm)

会社名 \_\_\_\_\_

部材名	成形年月日	検 査 結 果									
宅地雨水柵	年 月 日	外 観	適 ・ 否								
		形 状	適 ・ 否								
		寸 法		箇 所	規 格 値		許 容 差	実 測 値		判 定	
					穴有り	穴なし		①	②		
				a	500		—				適・否
				b	390		±3				
				c	50		±3				
				d	400		±3				
				e	350		—				
				f	400		—				
				g	50		±3				
				j	50		+5 -3				
				k	25		—				
				l	200		±5				
				n	60		—				
				o	550		±5				
				p	200		+5 -3				
				r	150		—				
				z	470		—				
a <sub>1</sub>	60		+2 -1								
a <sub>3</sub>	380		±3								
a <sub>6</sub>	230		±5								

# 外観・形状・寸法検査

柵 類 (単位: mm)

会社名 \_\_\_\_\_

部材名	成形年月日	検 査 結 果							
特殊汚水柵 ※蓋除く	年 月 日	外 観	適 ・ 否						
		形 状	適 ・ 否						
		寸 法	判 定	箇 所	規 格 値	許 容 差	実 測 値		
							①	②	
				上 部 1	c	55	±5		
					d	490	±3		
					o + p	210	—		
					p	60	—		
					内径	40	—		
				上 部 2	j	500	±5		
					k	50	±3		
					m <sub>1</sub>	360	±5		
				中 部 ・ 下 部	a <sub>1</sub>	235	—		
					a <sub>12</sub>	80	—		
					a <sub>13</sub>	44	±5		
					i	220	—		
				底 部	m <sub>2,3</sub>	500	±5		
					f <sub>1</sub>	600	—		
					g	55	±3		
					t	50	+5 -3		
u	55				—				
u + v	130				—				
x	25	—							
x + v	80	—							
a <sub>3</sub>	240	—							
a <sub>4</sub>	150	—							
汚水柵用 <input type="checkbox"/> 標準蓋 <input type="checkbox"/> 増強蓋 <input type="checkbox"/> φ390 <input type="checkbox"/> φ480	年 月 日	外 観	適 ・ 否						
		形 状	適 ・ 否						
寸 法	判 定	箇 所	規 格 値		許 容 差	実 測 値			
			φ 390	φ 480		①	②		
		a	390	480	±3				
		b	220		—				
		c	60		+2 -1				
		e	380	470	±3				
継 足 管 <input type="checkbox"/> h=100 <input type="checkbox"/> h=150 <input type="checkbox"/> h=200 <input type="checkbox"/> h=250 <input type="checkbox"/> h=300	年 月 日	外 観	適 ・ 否						
		形 状	適 ・ 否						
		寸 法	判 定	箇 所	規 格 値		許 容 差	実 測 値	
					汚水柵	雨水柵		①	②
				a	400	400	±5		
b	40			50	±3				
h			±5						

# 強 度 検 査

柵 類

会社名 \_\_\_\_\_

コンクリートの圧縮強度試験

	単 位	供試体 1	供試体 2	供試体 3
成 形 年 月 日		平成 年 月 日		
試 験 年 月 日		平成 年 月 日 (材令 日)		
破 壊 荷 重	KN			
平 均	KN			
圧 縮 強 度	N/mm <sup>2</sup>			
平 均	N/mm <sup>2</sup>			
出 荷 時 強 度	N/mm <sup>2</sup>	25 以上		
判 定		合 ・ 否		

# 型 枠 検 査

枠 類

会社名 \_\_\_\_\_

検 査 材 料		外 観 ・ 形 状					組 立 寸 法	総 合 判 定	摘 要
		清 掃	傷・磨耗	変 形	締付金具	型枠の合せ目			
汚 水 枠	I 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
	II 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
	特 殊	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
溜 枠	I 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
	II 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
	III 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
宅地雨水枠	穴有り	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	
	穴無し	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	

注1 清掃については、製品の外観に影響を与える場合は否とする。

2 傷・磨耗については、製品の外観に影響を与える大きさ、又は著しく多い場合は否とする。

3 変形については、製品の外観や寸法に影響を与える場合は否とする。

4 締付金具については、専用の物を使用していない場合は否とする。

5 型枠の合せ目については、製品の外観に影響を与える場合は否とする。

6 組立寸法については、測定可能な部分で寸法検査する。

7 製品検査で異常がない場合は省略できる。

# 配 筋 検 査

検 査 材 料		配筋図及び配筋状況				清掃・錆 及び損傷	総合判定
		本 数	ピッチ	鉄筋径	鉄筋被り		
汚 水 枠	I 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	II 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	特 殊	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
溜 枠	I 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	II 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	III 号	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
宅地雨水枠	穴有り	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	穴無し	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	継足 100	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	継足 150	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	継足 200	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	継足 250	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否
	継足 300	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否	適・否

注1 ピッチについては、鉄筋の重ね継手を考慮して鉄筋間隔±鉄筋径以内とし、これを超える場合を否とする。

2 清掃は鉄筋の表面について、どろ、油、ペンキ、その他鉄筋とコンクリートの付着を害する恐れのあるものが見られた場合を否とする。

3 錆については、浮き錆があるものを否とする。

4 損傷については、構造上、害を及ぼすような断面欠損等がある場合を否とする。

下水道用資器材  
製造工場検査書  
鉄蓋類

鑄鉄製鉄蓋（化粧用鉄蓋 T-14）

化粧用鉄蓋（汚水柵用）

塩ビ柵用鉄蓋

平成 年 月 日

工場名 \_\_\_\_\_

札幌市下水道河川局

## 外観・形状・寸法検査

鉄蓋類 (単位: mm)

会社名 \_\_\_\_\_

部材名	成形年月日	検査結果							
化粧用鉄蓋 (φ600)  雨水・合流 ・汚水用 □T-14	年 月 日	外観	適・否					判定	
		形状	適・否						
		寸法	箇所	規格値	許容差	実測値		判定	
						①	②		
			蓋	A	634	±0.3			適・否
				B	634	±0.3			
				G	7	±2			
				H	4	±2			
				I	48	±2			
				J	180	±2.5			
			枠	C	652	±5			
				D	600	±5			
E	820	±7							
F	110	±2							
化粧用鉄蓋  汚水柵用	年 月 日	外観	適・否					判定	
		形状	適・否						
		寸法	箇所	規格値	許容差	実測値		判定	
						①	②		
			蓋	φb	400	±1			適・否
				φc	100	±1			
				l	75	±2			
				t <sub>1</sub>	6	+1 -0			
				t <sub>2</sub>	10	+1 -0			
				t <sub>4</sub>	8	-1			
				s	25	+2 -1			
				u	40	+2 -1			
枠	φa	420	±1						
	h <sub>1</sub>	90	±2						
	h <sub>2</sub>	52	±2						
	φ <sub>i</sub>	376	±2						
	k	40	±2						
	p	13	±1						
r	12	±1							
t <sub>3</sub>	8	+1 -0							
t <sub>5</sub>	8	+1 -0							
t <sub>7</sub>	7	+1 -0							

## 外観・形状・寸法検査

鉄蓋類 (単位: mm)

会社名 \_\_\_\_\_

部材名	成形年月日	検査結果							
塩ビ柵用鉄蓋	年 月 日	外観	適 ・ 否					判定	
		形状	適 ・ 否						
		寸法	蓋	箇所	規格値	許容差	実測値		適 ・ 否
							①	②	
			蓋	$\phi d_3$	206	$\pm 1$			
				$\phi d_6$	186	$\pm 1$			
				$h_6$	15	$\pm 1$			
				$h_7$	25	$\pm 1$			
			柵	$\phi d_1$	220	$\pm 1$			
				$\phi d_2$	207	$\pm 1$			
				$t_1$	8	+1 -0			
				$h_1$	70	$\pm 1$			
$h_3$	30	$\pm 1$							
$h_7$	10	$\pm 1$							
塩ビ柵用鉄蓋 一般宅地用	年 月 日	外観	適 ・ 否					判定	
		形状	適 ・ 否						
		寸法	蓋	箇所	規格値	許容差	実測値		適 ・ 否
							①	②	
			蓋	外径	206	-0.2 -0.3			
				肉厚	10	$\pm 1$			
				高さ	25	+0.5 +0.1			
			柵	外径	220	$\pm 1$			
				上部内径	206	+0.2 +0.3			
				下部厚さ	8	$\pm 1$			
				高さ	70	$\pm 1$			
				挿入部	30	$\pm 1$			

## 強 度 試 験

鉄蓋類 (単位: mm)

会社名 \_\_\_\_\_

## (1) 荷重試験 (球状黒鉛鋳鉄製)

製 品 名	項 目	基 準	実 測 値		判 定
		□ T-14	①	②	
φ600 (化粧用) □雨水・合流・汚水用	試 験 荷 重 値	210 KN			適・否
	た わ み	2.2 mm 以下			
	残 留 た わ み	0.1 mm 以下			
	破 壊 荷 重 値	400 KN			
	破壊荷重載荷時の状況	割れ及びひびのないこと			

## (2) 静荷重試験等 (柵蓋, 球状黒鉛鋳鉄製)

項 目	汚水柵化粧用		塩ビ柵用			
	供試体 1	供試体 2	供試体 1	供試体 2		
静荷重	測定値					
	規格値	118 KN	55 KN			
	判定	適・否	適・否			
ひずみ	試験荷重	14 KN	—			
	測定値		—	—		
	規格値	0.1 mm	—			
	判定	適・否	適・否			
総 合 判 定						

※ 本様式にない鉄蓋等の検査を行う場合は、平成9年度版の下水道資器材製造工場検査要領及び、様式により検査を実施すること。

## 材 質 検 査

(1) 計量試験 (球状黒鉛鑄鉄製)

会社名 \_\_\_\_\_

製 品 名	規格値 (kg)		許容差	実測値		判 定
				②	②	
φ 600 (化粧用) □雨水・汚水・合流用	蓋	T-14	34.7	- 4 % 以内		適・否
	枠		51.0			

(2) 引張試験

材 質 名	項 目	規格値	実測値		判 定
			①	②	
蓋:FCD700 □Yブロック □製品実体切出し	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	700 以上			適・否
	伸び (%)	5~12			
	ブリネル硬さ (HB)	235 以上			
枠:FCD600 Yブロック	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	600 以上			適・否
	伸び (%)	8~15			
	ブリネル硬 (HB)	210 以上			

(3) 腐食試験

材 質 名	規 格 値		実 測 値 (g)			判 定
	供 試 体	腐食減量 (g)	浸漬前質量	浸漬後質量	腐食減量	
蓋 : FCD700	Yブロック	0.5 以下				適・否
	製品実体切出し	0.6 以下				
枠 : FCD600	Yブロック	0.8 以下				

(4) 黒鉛球状化率

材 質 名	規 格 値	実 測 値	判 定	備 考
蓋:FCD700	80%以上	%	適・否	黒鉛球状化率の判定には下図を参考とする。

※黒鉛球状化率判定参考図

95%以上	80%	70%	10%以下

## 使用原材料検査書審査

会社名 \_\_\_\_\_

鉄蓋類

材 料	規 格	検査書 ・ 成績表	判 定	適 用
鑄 鉄	蓋□JIS G 5502(球状黒鉛鑄鉄品)2種(FCD450) 枠□JIS G 5502(球状黒鉛鑄鉄品)2種(FCD450)	有・無	適・否	
銑 鉄		有・無	適・否	
カ ー ボ ン		有・無	適・否	
シ リ コ ン		有・無	適・否	
塗 料		有・無	適・否	
ボ ル ト	SUS 304 M16	有・無	適・否	
ナ ッ ト	JIS B 1181 六角ナット 片面取り A-M16 1種	有・無	適・否	
平 座 金	JIS B 1256 並丸 16×30×3.2-22H	有・無	適.否	
調整パッキン	SUS 304	有・無	適・否	

# 自主検査書審査

会社名 \_\_\_\_\_

## (1) 鉄蓋類：蓋

製品名		製造数	外観検査 (全数)		形状・寸法検査 (1回/50組)		強度試験 (1回/100組)		判定	適用
			検査数量	不合格数量	検査回数	不合格数量	検査回数	不合格数量		
φ600 (化粧用)	雨水・合流								適・否	
	汚水								適・否	
化粧鉄蓋(汚水柵用)									適・否	
塩ビ柵用									適・否	

注1 数量は、受枠共の組単位である。

2 自主検査書審査は、前年度分を原則とし、当年度分があれば含むこととする。

## (2) 鉄蓋類：枠

製品名		製造数	外観検査 (全数)		形状・寸法検査 (1回/50組)		強度試験 (1回/100組)		判定	適用
			検査数量	不合格数量	検査回数	不合格数量	検査回数	不合格数量		
φ600 (化粧用)	雨水・合流								適・否	
	汚水								適・否	
化粧鉄蓋(汚水柵用)									適・否	
塩ビ柵用									適・否	

注1 数量は、受枠共の組単位である。

2 自主検査書審査は、前年度分を原則とし、当年度分があれば含むこととする。

下水道管渠工事仕様書（平成28年4月改訂版）  
下水道用資器材製品製作及び検査仕様書（平成28年4月改訂版）

---

平成28年4月発行

作成 札幌市下水道河川局下水道施設部

札幌市豊平区豊平6条3丁目

電話（011）818-3451

FAX（011）812-5216

---